

愛知淑徳大学 健康・医療・教育センター (AHSMEC)
社会連携・貢献ポリシー

平成 30 年 3 月制定

令和 5 年 1 月改訂

令和 6 年 1 月改訂

愛知淑徳大学 健康・医療・教育センター（以下、「AHSMEC※」という）は、「社会連携及び社会貢献」に関する基本的な方針を「社会連携・貢献ポリシー」として明確に定めることにより、健康・医療分野における地域との様々な連携をより一層推進し、その社会的責任を果たすものとする。

※AHSMEC：愛知淑徳大学クリニック、心理臨床相談室、健康相談室、リハビリテーション室で組織し、健康医療科学や心理臨床学などに係る教育・研究・実践（診療）を通して地域貢献をおこなう愛知淑徳大学の付設機関をいう。

1. 社会貢献の推進

AHSMEC は、教育・研究と地域貢献の両面から、地域医療などに先駆的に取り組み、その成果を積極的に社会に還元することにより、社会における健康増進と医療の向上に寄与する。

2. 地域医療の推進

AHSMEC は、各専門機関において医師やコ・メディカルスタッフなどが緊密な連携をとることにより、内科・糖尿病内科、耳鼻咽喉科、眼科、心療内科・精神科及び整形外科・リハビリテーション科といった医療の分野のほか、心と身体健康維持と増進に寄与し、地域医療のネットワークの中核的機能を担う機関となることをめざす。

3. 情報の発信

AHSMEC は、健康相談室が中心となり講演会や栄養相談会などをはじめ、健康の維持・増進に役立つ情報を発信する。

4. 地域の健康を支える人材の育成

AHSMEC は、本学の研究科や学部・学科（専攻）と愛知淑徳大学クリニックや心理臨床相談室などが緊密に連携し、実践能力を有する専門職を養成するほか、社会人が専門性や実践力を磨く「リカレント教育」を推進し、地域の健康を支え得る人材の育成をおこなう。

5. 情報の公開

AHSMEC は、教育・研究活動の成果及び社会連携の実施状況などを積極的に社会に公表する。

以上